

農産廃棄物の成分分析と産業応用の可能性

【発表者】 杉浦 茜音、浅野 俊之（茨城県産業技術イノベーションセンター）

【内 容】

プラスチックは、原料の石油が枯渇してきており、持続可能なものづくりのために新たな原料による材料開発が求められています。一方、茨城県は日本有数の農業県であるため、農産廃棄物という非可食バイオマス（＝セルロース）が豊富にあります。当センターでは、これを有効利用する方法を模索しています。これまで、原料となるバイオマス試料にどれだけのセルロースが含まれているかを測るには、大量の有機溶媒とコストが必要でした。そこで本研究では、熱分析と蛍光エックス線分析により、バイオマス試料の成分比をより詳細に算出する方法を提案しました。本研究で得られた知見を樹脂開発に活用することで、ユニークな物性を有するセルロース樹脂の開発が期待されます。

【お問合せ】

茨城県産業技術イノベーションセンター

技術支援部 フード・ケミカル G（化学系）

TEL : 029-293-8576 / FAX : 029-293-8029

E-mail : food_chemical2(at)itc.pref.ibaraki.jp

※迷惑メール防止のため、「(at)」を「@」に書き換えてご送信ください。

